



さくら 2010 夏

発行
社会福祉法人 東桜会
第 28 号
〒420-0962
静岡県葵区東 527 番地の 1
特別養護老人ホーム 麻機園
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

「認知症サポーター養成講座」

みなさんは認知症になるのではないかと不安を持ったことはありませんか？

私はあります。認知症になったらどんな生活をするのだろうか？どんな人に助けてもらうのだろうか？助けてもらえないかもしれない。みんなに嫌われるかもしれないなど色々なことを考えます。

こんな不安を少しでも解消しようとしている運動があることを知っていますか？

『認知症サポーター養成講座』です。誰しものなるかもしれない「認知症」。いつまでも住み慣れた家で、家族の中で、仲間の中で・・・、こんな思いを持ちながらも「認知症」になると、家族やご近所に迷惑を掛けてはいけない等の思いから施設を希望する人が増えてきています。

また、周囲の人の理解や協力が無いために、家族を施設に入所させなければならない事もあります。

いつまでも家族と一緒に住みたいとの本人の思い、家族の思いを叶えるための一つの運動として、この「認知症サポーター養成講座」があります。認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を温かく見守る人を養成する講座です。

平成16年に『痴呆』との言葉が高齢者の尊厳を欠く表現であり、実態を正確に表現していないなどから、『認知症』と呼称変更されました。この変更を機に《認知症を知り、地域をつくる10ヶ年キャンペーン》が始まりました。このキャンペーンの一環として『認知症サポーター100万人キャラバン』が始まりました。

平成17年に「認知症サポーター養成講座」がスタートし、認知症サポーターを100万人養成するという目標を掲げましたが、平成21年5月に達成され、新たに平成26年までに400万人を養成することが目標になりました。平成22年3月末日で170万人が達成されています。私たちが住んでいる静岡県では5.5万人、静岡市では9500人です。静岡市では平成26年までに2.3万人を目標にしています。

なぜ私がこのような記事を書こうと思ったのかは、施設の入所者の家族を対象に行ったところ、認知症が意外に知られていなかった事がきっかけでした。知っているようで知らないことが多かったためかとても興味を持って聞いて頂きました。

大人の方を対象にした講演だけでなく子どもを対象にした講演もあります。

みなさんもキャンペーンに参加し、認知症になっても、安心して暮らせる街作りに協力してみませんか？興味を持たれた方、話を聞いてみたい方は連絡を下さい。



連絡先 = 麻機園 生活相談員 秋山真由美

新人職員紹介



松田まさ子

初めまして。今年の6月から麻機園で看護師として勤めています。看護師歴18年になります。性格は、かなり真面目です。特技はテニス、ギター（もうほとんど弾けません）お酒を飲むことです。特徴は色が黒い事。テニスを27年続けていたので決して地黒ではありません。しかし白衣を着るため余計に黒く見えます。老人ホームでの看護は初めてですが、皆さんと元気に頑張っていきます。何卒宜しくお願い致します。

やさしさの中で笑顔が咲き揃う 社会福祉法人 東桜会

『夏祭り』のお誘い

もうすぐ本格的な夏と共に東桜会の夏祭りがやっけてまいります。今年は“ともえ社中”さんが初参加！！バナナの叩き売り等の大道芸を披露してまいります。また、私達職員も、ゲームや食べ物等の出店で盛り上げていきますので、入所者の皆様や御家族の皆様の多数の御参加をお待ちしております。



開催日：7月31日(土)
時間：16:00～18:00
場所：桜花玄関前、駐車場
(雨天時：麻機園さくらの広場)
アトラクション：ともえ社中
(バナナの叩き売り、南京玉すだれ等)
出店
ゲーム：魚釣り・餡のつかみどり・射的
食べ物：たい焼き・たこ焼き・原宿ドッグ・
スイートポテト・焼きそば・焼き鳥等



夏祭り実行委員長 丸山賀久

～ 一步一步 ～

今年の4月に麻機園に入社し、3ヶ月が経ちました。最初の2ヶ月は特養の寮母をさせていただきました。最初は、入所者の皆さんの名前を覚えるのに必死で、会話もなかなかできませんでした。しかし、名前を覚えていくに連れて自然と話ができるようになりました。そうしている内に2ヶ月が経ち、デイサービスへ異動の話がありました。「まだ利用者の方全員の名前も覚えてないのに、デイサービスでやっていけるのか・・・」そんな不安がありました。何事も経験、自分にとってプラスになると思い、6月からデイサービスで様々なことを学ばせていただいています。

デイサービス初日は、やはり緊張しながらの自己紹介。しかし、「富三郎？役者みたいな名前だね！」と利用者の方が笑顔で言ってくださり、緊張が解けたのを覚えています。

7月からは、産休に入る望月さんに代わり、私が生活相談員となります。社会人として、麻機園の職員として未熟な私なので、これから皆さんにご迷惑をおかけするかもしれませんが、利用者の方、ご家族の方の力になれるよう頑張っていきますので、よろしくお願ひします。



デイサービス相談員 小泉富三郎

「あたりまえって何？」 望月 優美

「あたりまえ」と言う言葉がありますよね。仕事によく耳にする言葉ですが、私は「その言葉を使うのはやめよう！あたりまえをあたりまえと思っではいけない！」と思ひながら仕事をしています。

そう思っようになったきっかけは、職員同士の話し合いの時でした。先輩の職員から「新人職員は私達があたりまえと思っっている事から分らないと思っよ。私達は、長年の知識と経験を基に物事を考えられるけど、新人さんにはまだその経験がないからね。」と言われ、そうかと気が付かれました。

長く働いていると自分の思いや考えが「あたりまえ」でみんな自分と同じ考えだと思ひ込みます。例えば、私は、自分の担当している居室の入所者の事は、他の居室の入所者よりも関わりを持ちたいし、気にかけていたいと思っています。それは、私にとっての「あたりまえ」でも他の職員にとっては「あたりまえ」の事ではないかもしれません。

職場にはたくさんの方がいます。人間、育つた場所も違えば考えも違っ。その人にとってはあたりまえかもしれない事が他の人にとってはそうではないかもしれない。だから、「一から十まで伝える必要がある」と思っ仕事をしていきます。

皆さんも、もっ一度「あたりまえ」という言葉を見直してみればどうでしょうか？

デイサービスを無料で1日体験できます。ご利用希望の方は209-2619までお電話ください。